

災害・事件等発生時の児童生徒の安全確保について

事案	条件	小中学校等の対応	保護者連絡	スクールバス
雷 雨	屋外で活動中に近くで雷鳴が鳴る場合	活動を中止し校舎内へ移動します		
	下校時に雷鳴が接近した場合	校舎内で待機し、雷雲が通過した後に下校します	メール配信	
降 雪	前日に大雪が予想される場合	休校又は遅れて始業の対応をします	メール配信	運行を調整
	登校後に降雪量が増えると予想された場合	下校を早める判断をした場合、臨時バス運行について調整します	メール配信	臨時バス運行を検討
猛 暑	熱中症警戒アラートが発令され、WBGTが31以上(気温35℃以上等)の場合、または校長が判断した場合	運動は原則中止します		
台 風	前日に台風が接近し暴風雨が予想される場合	台風の接近時刻により、授業開始時刻の変更を判断し対応します	メール配信	運行を調整
	登校後に台風が接近し暴風雨が予想された場合	下校を早める判断した場合、臨時バス運行について調整します	メール配信	臨時バス運行を検討
土砂災害	土砂災害で登校が危険な場合や一部バス路線が運行できない場合	災害地域の児童生徒は登校せず、通常授業を行います	メール配信	
地 震	屋内での活動中の場合	まず身の安全を確保し、安全な場所に避難します	メール配信	運行を調整
	屋外での活動中の場合	建物から離れて安全な場所に避難します		
	登下校時に地震があった場合	安全な場所に避難します (被害が無く、バス運行可能な場合はバスで登下校します。バス運行できない場合、登校時は家庭、下校時は学校で待機します。)		

学校火災	火災規模が小さい場合	出火場所から離れて避難します	メール配信 防災無線	運行を調整
	火災規模が大きい場合	校庭の一次避難場所に避難、状況悪化の場合は二次避難場所(小学校は公民館、中学校は小学校)に避難します		
火 災	登下校中	火災から素早く離れます		
不審者近接	登下校中	「イカ・の・お・す・し」を実行します。近くの家に避難します。		
	近接の場合	一階出入り口や窓を施錠し、二階以上に避難します		
	侵入の場合	侵入場所から離れて、校庭等に避難します	メール配信	
野生動物出現	登下校中	騒がずその場から離れます 出現場所を知らせ、注意して登下校します	メール配信	
	校地内に出現した場合	屋内に避難します		
Jアラート発令	登校前	自宅待機し、安全確保してください その後、緊急メール等で対応し、連絡します。	防災無線	運行を調整
	登下校中	・近くのできるだけ頑丈で安全な建物に避難してください ・スクールバス乗車中の場合は、運転手の指示に従ってください		
	児童生徒が学校にいる場合	校舎内で待機し、安全確保に努めます		

※全ての災害や事件に対応できるものではありません。必要に応じて緊急時引き取りをお願いすることがあります。